

事業を通じた 価値創造

事業を通じて価値を増大(創造)し、引き続きステークホルダーの皆さまから信用される企業をめざします。



お客さまに対する価値創造

フレッツ光サービス

ブロードバンド・ユビキタス社会の実現に欠かせない重要なインフラとして、通信事業者のアクセスポイントからエンドユーザーまでの間を光ファイバーケーブルで結び、情報通信サービスを提供する光アクセスサービスです。

NTT西日本では、次世代ネットワーク(NGN)ならではの利便性と信頼性を兼ね備えた「フレッツ 光ネクスト」の新たなサービスとして2012年10月から1Gサービス「フレッツ 光ネクスト スーパーハイスピードタイプ準」の提供を開始、2013年1月から「フレッツ 光WiFiアクセス」の提供を開始、2013年8月から「どんと割」の提供開始。お客さまのニーズに合わせたサービスを提供することにより、2013年度末にはフレッツ光サービスの契約数が約786万件になりました。

今後のさらなる普及促進に向けて、お客さまにとって“魅力的な”サービスの提供に取り組んでいきます。

※ サービス提供エリアであっても、設備の状況などによりサービスのご利用をお待ちいただいたり、サービスがご利用いただけない場合がございます。サービス提供エリアにつきましては、お問い合わせいただくかもしくは弊社ホームページにてご確認ください。
関連リンク: フレッツ 光ネクスト サービス提供エリア
<http://flets-w.com/next/area/>

ソリューションサービス

法人ビジネス分野については、自治体や企業の経営課題を解決へと導くさまざまなソリューションを提供させていただきました。とくに、地域社会に対して、デジタルディバイド(情報格差)の解消および地域のニーズに合わせたブロードバンドサービス環境の提供に向け、各自治体と連携し、ブロードバンド環境整備に積極的に協力しました。

また、お客さまのシステムを安定稼働させて、災害発生

時にも継続して運用するためのデータセンタビジネスの拡大に努めました。さらには、通信キャリアとしての光ネットワークとデータセンタを基盤としたクラウドサービスを、2011年3月より提供開始しました。

今後は、さらにお客さまニーズに対応したサービスを提供していきます。

クラウドサービス

昨今、全国的に光アクセスサービスなどの高速インフラ整備が進み、ブロードバンドネットワークの契約数の増加^{※1}やスマートフォンなどのモバイル端末の普及も進んでいます。^{※2}

そのようななかで、システム導入に関する設備投資や運用負荷の低減などのニーズに加え、BCP対策としてシステムのデータ保全や、スマートフォンなどを利用した効率的な業務運営のため、クラウドコンピューティングを導入する企業が増えてきています。^{※3}

このような状況において、NTT西日本は、長年にわたり、通信キャリアとして電話・光IPサービスを提供するなかで培ってきた「安心・信頼」の運用実績やノウハウを活用し、データセンタやプラットフォームのメニューを中心とした「Bizひかりクラウド」サービスを提供しています。

「Bizひかりクラウド」とは、NTT西日本グループが提供する「安心・信頼」のクラウドサービスを体系化したものです。

- ※1 平成25年版 情報通信白書 インターネットの利用動向より
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h25/html/nc243120.html>
- ※2 平成25年版 通信利用動向調査(世帯編) 主な情報通信機器の普及状況(世帯)より
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05a/h25doukou.html>
- ※3 平成25年版 通信利用動向調査(企業編) クラウドコンピューティングサービスの利用状況より
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/data/140627_1.pdf

TOPICS 2013

「デマンド交通システム」での ドアtoドア送迎 高齢者にやさしい地域公共 交通を整備

福岡県八女市は、市町村合併による高齢化率の上昇にともない、課題となる地域公共交通の整備について「デマンド交通システム」を活用し、利用者からの事前予約情報をもとに出発地から目的地までの「ドアtoドア送迎」を低料金で提供する「ふる里タクシー」の運行を開始。NTT西日本はコンサルティングパートナーとして提案、構築しました。

「住民の利便性を大切にして乗り合い率を高めたい」という要望を踏まえ、一貫してドアtoドア送迎にこだわったNTT西日本は、地域公共交通のコンサルティングにあたって、事前に約1,400世帯を対象に住民アンケート調査を実施。住民の動線について綿密な分析を行うなど、利用者にとって最適な交通について検討したうえで、下図のようなデマンド交通システムを提案しました。

本システムは、①CTI^{※1}機能を活用し、利用者(要事前登録)から予約センターに電話がかかってくると同時に専用の受付端末画面上に利用者の氏名や住所などをポップアップ表示することにより、電話での聞き間違い防止や受付時間の短縮を図るなど、よりスムーズな利用受付を実現。②GIS^{※2}機能を活用して最適な送迎ルートを検討した後、複数の利用予約を束ねて送迎車両を決定し、車両に設置している車載器へルート情報を送信。車両は指示されたルートに従って利用者ごとに目的地まで送迎できるといった特徴があります。

八女市では、当初の目標利用者数を上回るだけでなく、80%もの利用者から「暮らしが便利になった」と評価もいただけており、通信サービスの利用が、住民と双方のやり取りを行う行政サービスの実現に貢献しています。

- ※1 Computer Telephony Integration の略。コンピューターシステムと電話網をつなぎ、電話応対業務を高度化するシステム。
- ※2 Geographic Information System の略。位置や空間に関する情報をコンピューターを用いて重ね合わせ、情報の分析を行ったり、情報を視覚的に表示させたりするシステム。

